

# 施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 15日
2次評価日（部長等）	2年 7月 16日

## 1 施策の概要

施策名	生活環境対策の推進	コード	11-2
この施策の主な内容	3Rの推進、ごみ処理の広域化の推進、野焼き、不法投棄等の防止、総合的な生活環境保全対策の推進、衛生施設の維持管理		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	市民、企業、行政が一体となった環境保全活動に取り組むとともに、諏訪湖周クリーンセンターの適正な管理運営、ゴミの排出抑制とゴミの適正処理に努める。 また、湖北火葬場及び湖北衛生センターの適正な管理運営を図る。		
担当部課	部 市民環境部	課等 環境課（市民環境課）	作成者 伊藤 雅章

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\* 第5次総合計画における目標指標の達成状況(前期基本計画:元年度~5年度)

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 一人一日当たりの燃やすごみ排出量	g	577	585	558	598	93.4%	560	565.9
指標説明	ごみ処理基本計画における市民一人当たりの家庭系+事業系の一日分の燃やすごみ量							
②						-		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	340,822	404,597	440,163	556,827
人件費	48,560	48,480	48,480	48,480
合計コスト	389,382	453,077	488,643	605,307

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

○ 施策指標である水質調査河川のBOD数値は低い値で安定しているが、年1回の調査のため、単発的に高い値が出てしまう場合がある。

○ 不法投棄件数は、平成22年度に増加した後は横ばいとなっていたが、平成29年度以降は増加傾向にある。住民の意識が高まったことが要因と考えられる。

○ 生活に関する苦情は、前年度に比べ大きな変動はないが、近年増加傾向にある。環境に対する意識の高まりにより通報が増えたと考えられるが、モラルの低さから発生している事例も多い。野焼きに関する苦情に加え、薪ストーブに関する苦情等が増えている。

○ 廃棄物の処理は適正に行われている。家庭ごみ有料化、その他プラスチックの分別回収、生ごみの拠点回収の拡大、分別指導等を行ったが、ごみ減量目標は達成できなかった。主な増加の理由は、本市の商圏人口の増加により、小売・飲食等の消費が好調であったこと、2月からの新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等で消費が伸びて不用品の排出が進んだこと、クリーンセンターへの直接持ち込みが年々増加しているためと分析している。また、民間事業者による資源物の無料回収ボックスの設置等により、資源物の回収量も減少となっているため、資源化率が下がっている。

○ 湖北火葬場の管理は下諏訪町とともに行っている。平成21年度の全面建替えにより、環境に配慮し、また利用しやすい施設として、利用者から好評をいただく中で、順調な運営がされている。

○ 霊園は、聖地返還が増加傾向にあり、当面の間は新たな造成工事の必要はないが、新規希望者も一定数いるため、返還された空き区画を計画的に再整備して需要に応えている。また、合葬式墓地の運営も順調に進んでおり、令和2年度には収納計画埋蔵数に達する。

○ し尿処理施設（湖北衛生センター）は、下水道の普及に伴い搬入量の減少傾向は続いているが、汚泥リサイクルなど効果的な稼働により、経費節減を図り管理運営を行っている。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	下水道の普及 衛生自治会との連携 火葬場、霊園、衛生センターなど市民生活に必要な施設が整備されている。また、下水道普及率が高く快適な生活環境が整えられている。
岡谷市の弱み	農地と宅地が混在していることにより、農地での野焼きに対する近隣住民からの苦情が多い。

**5 今後の外部環境の変化**

\* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	湖周行政組合の最終処分場建設論議に伴う、市民のごみ減量への意識の高揚
不利に働くもの	

**●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)**

**6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性**

**●基本的な考え方**

\* 優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	○生活環境の状況を把握するため、河川及び地下水の水質調査、自動車騒音の測定を継続して実施し、状況の分析を行う。 ○野焼きや不法投棄について、環境モニターと連携しながら、環境に与える影響を理解してもらうため、市民への意識啓発を図っていく。 ○水資源の保全については内部検討を深め、調査の実施、ガイドラインの策定に向けた協議を行っていく。 ○更なるごみ減量に向けて、市民一人ひとりの「3R」の意識高揚を図るとともに、「硬質プラスチックの試験回収」を継続実施し、リサイクルの推進を図る。 ○火葬・し尿処理・霊園事業は、住民生活に不可欠な事業であることから、継続して実施する必要がある。 ○し尿汲取りは、利用者が減少傾向にあるが、住民生活に必要な事業であるため、補助金で支援することにより経営安定化を図る。
見直しを行う分野	

**●令和3年度の優先度**

\* 方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							直接事業費					
							人件費					
							29年度	29年度	29年度			
							29年度	29年度	29年度			
							30年度	30年度	30年度			
							元年度	元年度	元年度			
							2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)			
1		内部	あり	火葬場事業	-	-	-	81,715	2,880	-	継続して実施	B：現状維持
								83,523	2,880			
								85,864	2,880			
								83,221	2,880			
2		公共施設	あり	内山霊園管理事業	施設稼働率	%	100.0	16,104	2,400	高い	継続して実施	B：現状維持
							100.0	39,777	2,560			
							100.0	15,535	2,560			
							-	18,900	2,560			
3		内部	あり	し尿管理事業	-	-	-	28,189	560	-	継続して実施	B：現状維持
								29,782	560			
								25,893	560			
								38,995	560			
4		内部	あり	公衆便所管理事業	-	-	-	1,138	880	-	継続して実施	B：現状維持
								3,425	640			
								1,184	640			
								1,346	640			
5		一般	あり	環境衛生推進事業	狂犬病予防注射済頭数割合	%	90.5	1,994	5,440	高い	継続して実施	B：現状維持
							89.5	1,966	5,440			
							89.5	1,950	5,440			
							95.0	2,700	5,440			
6		一般	あり	ごみ減量啓発指導事業	総ごみ量	t	13,039	19,747	9,600	高い	継続して実施	B：現状維持
							12,834	19,721	9,600			
							12,955	15,954	9,600			
							14,083	16,405	9,600			

●令和3年度の優先度 \*方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費		人件費		妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	29年度	29年度	29年度				
							30年度	30年度	30年度				
							元年度	元年度	元年度				
2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)											
7	一般	あり	資源物回収事業	資源化率	%	18.0	56,872	6,400					
						16.0	56,745	6,400					
						15.0	59,003	6,400					
						29.0	63,088	6,400					
8	内部	あり	塵芥収集事業	-	-	-	38,755	3,200					
						-	38,431	3,200					
						-	42,769	3,200					
						-	46,317	3,200					
9	一般	あり	塵芥収集指導・啓発事業	違反シール貼付等に対する指導件数	件	5,112	839	6,000					
						4,388	1,088	6,000					
						3,666	1,129	6,000					
						3,300	1,729	6,000					
10	公共施設	あり	埋立施設管理事業	施設稼働率	%	100.0	14,836	3,200					
						100.0	27,168	3,200					
						100.0	23,705	3,200					
						100.0	25,607	3,200					
11	建設	なし	湖周地区ごみ処理施設整備事業	進捗率	%	40.8	78,089	3,600					
						45.3	100,221	3,600					
						52.6	164,941	3,600					
						-	255,832	3,600					
12	内部	あり	生活環境対策事業	-	-	-	2,544	4,400					
						-	2,750	4,400					
						-	2,236	4,400					
						-	2,687	4,400					
13													
14													
15													